

安く宇宙で観測する

～宇宙開発を目指す人材教育を兼ねながら～

高田 拓

宇宙空間

安価な装置開発

工学教育

研究室の所在：専攻科棟 | 階西側

・なぜこの研究をしているの？

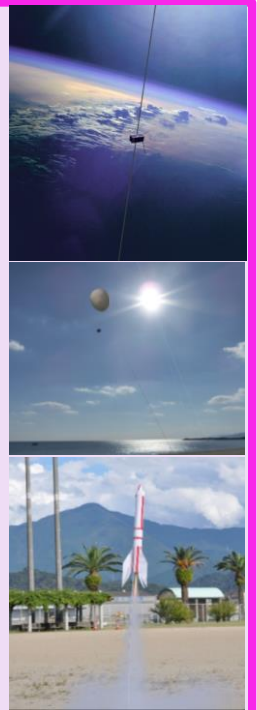
私たちの生活は、宇宙空間を行き交う人工衛星によって支えられています。小さな人工衛星を安く打ち上げ、多くの人工衛星のネットワークを使った新しい試みにつなげることを目指して、研究をしています。

・具体的に今やっているのはどんなこと？

☆全国の高専と連携して、2020年打ち上げ予定の超小型人工衛星の開発を進めています。

☆宇宙空間より低い場所である対流圏（～9 km以下）や成層圏（～50 km以下）での観測を行うために、気球搭載装置を開発し、観測実験を行っています。

☆学生が宇宙開発に取り組むきっかけとなるように、人工衛星やロケットをモデルにした教材開発などを行い、講座やコンテストなどを実施しています。



・研究成果はどのようなモノやコトに役立つの？

宇宙空間などは、人が直接行くことが難しい場所ですが、安価で高精度な観測装置を送り込んで観測できるようになります。